

「バードコールの卒業記念品」

お茶の水女子大学附属小学校教諭

お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーションセンター研究員

田中 千尋 Chihiro Tanaka

卒業式が行われる今の時期、各校でさまざまな卒業記念品があると思う。特に在校生が卒業生に渡す記念品は、さまざまなアイデアがあると思う。今回、友人の小学校教員から相談を受け、バードコールの材料を提供した。樹木の輪切りに「蝶ボルト」をねじこむと、「キュルキュル・・・」と小鳥の声のような、美しい音が出るのだ。



よく乾燥したカラマツの輪切りの場合、「直径6.0mm、長さ20mmの蝶ボルト」を、「直径5.5mmか5.0mmの孔」にねじ込むと良い。ボルト径よりも、孔径のほうがわずかに小さいことが重要だ。



ドリルはできるだけトルクの強いものを使用し、木工用ドリル刃の5.5mmのものを使う。5.5mmのものはなかなか入手できないので、その場合5.0mmのものでも良い。ただし、5.0mmの孔に6.0mmのボルトを入れるには、子どもではかなりの力が必要だ。



私が依頼を受けたのは、「カラマツの輪切りを送ってほしい」というものだった。以前は北軽井沢の木工名人があつという間に切ってくれたのだが、今はやってないというので、自分で作った。



後日、このようなバードコールができたこと、その友人が写真を送ってくれた。2年生が6年生の為に1個ずつ絵を描いたのだという。裏は学校の校章と「卒業記念」のスタンプが押してある。



北軽井沢の裏庭のカラマツが、こんなにかわいらしい、心のこもった卒業記念品になって、とても嬉しく思った。きっとその学校の卒業生もカラマツ自身も喜んでいるにちがいない。